

かしまだ包括 虹便り 第54号

1面：シリーズ「教えて！眼医者さん!! 👁️👁️」第2弾
2面：電気火災を防ごう！

【シリーズ「教えて！眼医者さん!! 👁️👁️」第2弾】



そりゃ年をとれば、目は見えなくなってくるでしょ。
身体はちゃんと内科の先生に診てもらってるから大丈夫だよ。

さて、第1弾では、放っておくと失明に繋がる恐れがある怖い病気として緑内障や黄斑変性症があり、それらは普段の健診では見つからないことを伺いました。

では、普段から内科などに通院されている方はどうでしょう？

私たち、かしまだ包括からほど近くで開業されている菊地眼科クリニックの院長、菊地先生に再びお話を伺いました。

Q. 特に眼科の受診が必要な病気にはどのようなものがありますか？

菊地先生：糖尿病とか高血圧症、脳梗塞ですかね。
糖尿病や高血圧の場合は眼底出血に繋がると失明の恐れがあります。視力が低下したり目がかすむなどの症状が出るのですが、そこで気付かない事が多いので心配です。
脳梗塞は、後遺症で視野が欠ける事があります。上手く物をつかめないのが麻痺でなく視野欠損のせいという時があります。検査をしてみても初めてそれがわかります。



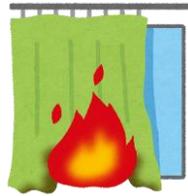
菊地院長



やはり自覚症状だけで判断せず、受診して検査を受ける事が大切なんですね。
健診で糖尿病・高血圧といった生活習慣病の指摘を受ける方も多い今、これらは見過ごせませんね。
既に内科にはかかっているよという方、眼科受診も忘れずに！

【電気火災を防ごう！】

空気が乾燥する冬場は、火事も起こりやすい時期になります。特に近年は‘電気火災’が増加傾向にあるとのこと。電気火災とは、その名の通り、電気機器などが原因で発生する火災です。川崎市内で令和5年に発生した火災390件の内、130件近く、約1/3を電気火災が占めています。



～こんな電気火災が発生しています～

事例①延長コードを束ねた状態で使っていたところコードから出火！

→コードはまっすぐ伸ばし、熱がたまらないようにしましょう。

事例②洗濯機の電源プラグがコンセントにしっかり差さっていなかったため電源プラグとコンセントの間で発熱し出火！

→電源プラグはしっかりコンセントに差しましょう。

→曲がった電源プラグは使わないようにしましょう。

このようなところに気を付けましょう！



電気火災を防ぐポイント💡

- 定期的に電気コード類を点検しましょう。
- 定期的にプラグを抜いて、付着したほこりなどを掃除しましょう。
- 電気機器に異常がみられた場合は、使用を中止して、販売業者又は製造・輸入業者に相談してください。
- リチウムイオンバッテリーに衝撃を加えたり、高温となる場所に放置することによって火災になることがあります。取扱いに気をつけましょう。



【川崎市ホームページより抜粋】

かしまだ地域包括支援センターのご案内

- * 高齢者とそのご家族の総合相談窓口（無料）です。
- * 来所、電話、訪問による相談をお受け致します。
- * 秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

相談時間 月曜日～土曜日 9：00～17：00まで

〒212-0027 川崎市幸区新塚越201ルリエ新川崎6階

TEL：044-540-3222

（鹿島田駅前のマルエツが入っているビルの6階です）

担当地域

北加瀬・矢上
鹿島田・下平間
古川町・新塚越